**第13日本トレーニング指導学会大会　発表申込**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名（フリガナ） | ※発表代表者のお名前をご記入ください。 | 生年月日 | 西暦　 　　　　年　 　月　 　日 |
| 年　齢 | 　　　　　　　歳 |
| 会員番号 | 　　　　　　　　　　　　　　　　※JATI会員のみ |
| 所属 |  |
| 連絡先 | 住所　〒TEL： 　　　　　　　 E-mail： |
| 発表タイトル |  |
| 発表形式 | □　口頭発表　　　　□　ポスター発表　　　　□どちらでも良い※ご希望の形式の□を、■にしてください。　※審査の結果、ご希望の形式でご発表いただけない場合がございます。 |
| 発表種別 | ■科学的研究 |
| 表彰希望（対象者のみ） | 表彰の対象になることを、□希望します　　　　　□希望しません種別□学生　　　　□大学院生　　　□一般※該当する項目の□を、■にしてください。 |
| 共著者 | ※共著者がいる場合には、氏名とフリガナをご記入ください。例）麻布 太郎（アザブ タロウ） |

※抄録は2ページ目に記述してください。

**タイトル（太字、中央よせ、MSゴシック11ポイント）**

筋肉太郎1、脂肪落子2、骨太筋太1, 2（MSゴシック10ポイント）

1日本トレーニング指導大学　筋力増強学部、2国際スポーツ科学大学　筋パワー開発学部

*「改行」*

**【現場へのアイデア】**（MSゴシック10.5ポイント）

研究結果から合理的に導き出すことのできるトレーニング指導への提言、および、その提言が適応できると考えられる環境や条件なども含めて記載する。ただし、研究目的から逸脱したトレーニング指導への提言は行ってはならない。

以下は記載例です（「目的」、「方法」、「結果」、「考察」は、項目見出しに分けて記述してください。）

**【目的】**研究の背景を1文か2文にまとめ、研究を行う理由を論じ、研究目的を簡潔かつ明確に記述する。もし検証する仮説があればそれも記述する。

**【方法】**（トレーニング方法や測定方法等に加えて統計解析について記述してください。）

**実験または測定環境：**研究における知見のトレーニング指導への適応のしやすさの判断の一助として、実験または測定環境を記述する（例：実験室、トレーニングルーム、人工芝グラウンド、体育館など）

**実験または測定参加者：**実験や測定に参加した人の人数、特徴（身長、体重、年齢、スポーツ競技歴（もし必要であれば）の平均値±標準偏差）、対象者選出基準（例えば既往歴や障害・外傷の有無、運動習慣の度合、競技歴などによる選出基準）

**運動やトレーニング方法：**運動の種類あるいは方法について、トレーニング実験に関しては強度や回数、セット数などの詳細な情報を記述する。

**測定方法：**結果の解釈に必要不可欠な実験または測定の手順、条件、測定機器、分析方法などの詳細を記述する。

**統計解析：**研究目的において主要な独立変数、従属変数、そして、研究結果を導くために用いた統計処理を記載する。

**【結果】**主要な結果を記載する。ただし、ただ単に、「有意差があった」だとか「有意な相関があった」などというだけ記載するのではなく、各変数の平均値や標準偏差、相関係数、有意確率など、結果の解釈に必要な記述統計データも記載する。

**【考察】**研究において新規性があり重要な知見を強調、要約する。考察及び結論は、研究目的と合致したものでなければならない。